

祖父にもらった名前

ジョイス・デステーション・タノト

私の名前はジョイス・デステーション・タノトです。ジョイスと言います。この文章で、私の名前の由来と私に与えた影響を話したいと思います。

私はインドネシアの華僑の家族に生まれました。普通は、インドネシアの華僑には二つの名前があります。正式名と中国語名です。両親は祖父に私の中国語名を決めてもらいました。祖父は私に「如意」という名前を付けました。この名前は「自分の希望がかなう」という意味です。父母はこの名前がとても気に入ったので、私に「ジョイス・デステーション・タノト」と名付けました。「ジョイス・デステーション」は「幸せになる運命にある」という意味です。「タノト」は名字です。両親はいつも私が幸せに暮らし、夢を達成することを望んでいます。

実は小さい時、私はあまりかわいげのある子どもではありませんでした。たくさん泣いて、たくさん文句を言って、人を許すことが

できませんでした。ある日、友達とけんかしたことに ついて母に文句を言うと、母は突然「ジョイスはぶうしていても不機嫌なの？ 幸せになるようにと名付けて、本当にそれを願っているのに」と言いました。私はそのときしてもおどろいて、そして目かぶせました。数日間そのことをずっと考えました。心が落ち着きませんでした。結局私は勇気を出して友達に謝ることに決めました。彼女が怒るのを心配していましたが、彼女は私を抱きしめて謝ってくれました。その時から、他の人に対する行動を変えようと努めました。私が間違ったり、先に謝る。傷ついた時は、相手の立場を理解し、許そうとしました。そうすると、心が安らかになって幸せになりました。それ以降、学校は楽しい所になりました。友達がたくさんできました。勉強もだんだん好きになりました。成績が上がったのでクラスの中のトップの一人になりました。中学校からは一番高いレベルのクラスに入れました。え

こで、とても才能がある人たち、学情熱が
高い人たちと出会いました。そして、私も勉
強をもっと頑張るようになりました。数学コ
ンテストや英語コンテスト、バスケットボー
ル大会に参加しました。新しい趣味も見つけ
ました。そろばんをするのは大好きです。忙
しい学業の中、ほとんど毎日夜まで真剣に練
習しました。たくさん大会に参加して、3年
連続で全国そろばん大会のチャンピオンにな
りました。そして、それまでの暗算の記録も
破りました。
学校を卒業したら、さらに高い目標をめざ
して、日本で一番人気がある工学大学と、いく
つかの奨学金を申請しました。しかし、その
中の一つも合格しませんでした。当時は本当
に悲しみに沈みました。でも、家族のポジテ
ィブな励ましのおかげで立ち直るかできました
た。私は地元の大学で学ぶことにしました。
暇な時には、小学校の教師として働いていま
した。教えることが好きになりました。子供

たちの学が意欲を見るか好きで、これらの役に
 立つのが嬉しかったです。その子たちは楽
 しい授業をありがとうと書いて手紙をくれま
 した。私は深く感動しました。
 そして私は世界を見てみたいという夢を持
 っています。もっと多くの人たちに役に立ち
 たいと思います。そのために、海外の奨学金
 を申請することにしました。
 私は今文部科学省奨学金で日本に留学し、
 日本語学校で勉強しています。すべてはバタ
 フライエフェクトみたいだと思います。蝶の
 羽ばたきのような小さい出来事が大きな影響
 を与えます。祖父が私に「如意」と名付けた
 コト加、両親が私に「ジョイス・デステイー
 ン」と名付けるコトにつなかりました。とし
 て、今の私が他人と良い関係を築き、夢を
 追いかける勇気を持てたのは、名前からもり
 った力と私の家族のおかげです。これからも
 頑張り続けて、社会の役に立つ人になりたい
 と思います。